

肝細胞癌に対する薬物治療の効果とvessel co-optionの関連

本学で実施しております以下の研究についてお知らせ致します。

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申出ください。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

研究課題名	肝細胞癌に対する薬物治療の効果とvessel co-optionの関連
倫理審査 受付番号	第3944号
研究期間	2021年12月実施許可日～2023年 3月31日
研究対象情報の 取得期間	下記の期間に本院の肝・胆・膵外科を受診された、肝細胞癌の方 2008年 1月 1日～2021年10月31日
研究に用いる 試料・情報	試料等、カルテ情報
研究概要	(研究目的、意義)

肝細胞癌の病理組織における腫瘍血管の構造を分類し、その頻度や血管新生阻害薬に対する効果・治療成績との関連を調べます。これが肝細胞癌に対して用いられる血管新生阻害薬の治療効果を事前に予測するマーカーとなれば、患者さん一人一人に合った適切な治療法の選択につながると考えています。

（研究の方法）

手術の際に切除した肝細胞癌の病理標本（病理診断に用いなかった余剰分）について目的外使用に同意を頂いている患者さんを対象として、癌組織の血管の構造を顕微鏡で調べます。この血管構造を分類し、腫瘍の進行度やその後の化学療法の効果との関連、生存期間との関連を調べます。観察・検査項目は再発・生存の情報（無増悪生存期間、全生存期間）、化学療法の効果、患者さんの基本的な身体情報（年齢、性別、腫瘍の進行度、肝機能障害の程度、原疾患等について）です。なお、再発・生存の情報については2022年12月31日まで調査します。

（外部への試料・情報の提供）

病理標本は代表研究機関である兵庫医科大学肝胆膵外科に集められた後に共同研究機関である神戸大学医学部附属病院病理部に送付されます。病理学的評価を受けた後、兵庫医科大学肝胆膵外科に返却され、その後は研究責任者が保管・管理します。また、診療情報については、代表研究機関である兵庫医科大学肝胆膵外科に収集され、特定の関係者以外がアクセスできない状態で解析を行います。匿名化の為に用いた対応表は、研究責任者が保管・管理します。

（研究組織）

兵庫医科大学 消化器外科学 肝胆膵外科
京都大学大学院医学研究科 肝胆膵・移植外科
神戸大学医学部附属病院 病理部

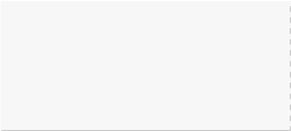
（個人情報の取扱い）

収集したデータ・病理標本は、誰のデータか分からないように加工した（匿名化といいます）上で、統計的処理を行います。国が定めた「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。

本研究に関する 連絡先

兵庫医科大学病院 肝・胆・膵外科
藤本 康弘（研究責任者）
奥野 将之（研究担当者）

〒663-8501 兵庫県西宮市武庫川町1-1
TEL | （平日 9：00～17：00） 0798-45-6250
（上記時間以外） 0798-45-6111



FAX | 0798-45-6930

E-mail | ma-okuno@hyo-med.ac.jp
